

MRワクチン (麻しん・風疹混合ワクチン)

M (measles) : はしか(麻疹)

- ・ 昔「命定め」といわれた病気
- ・ 根本的な治療はないので今でも「命定め」の病気が変わりない
- ・ 死亡率も高く、脳炎の後遺症も多い
- ・ **どの年齢でも重症になる** (こどもだけの病気ではない)



R (rubella) : 風疹

- ・ 妊婦の初感染により胎児に難聴・白内障・心疾患などの
先天的な障害が発生する

現役子育て世代のお父さん・お母さんに、風疹免疫を持たない方が多いため、ワクチン助成制度が実施されている



母体感染に伴う、先天性白内障の赤ちゃん

● 接種時期と接種回数

第1期：1歳代で1回目の接種をします

第2期：小学校入学の前年(幼稚園や保育園の年長クラス)1年間に2回目の接種

● 副反応

接種後1週間くらいで熱が出る子が5~20%ほどいますが、1~2日でおさまります

吉祥院こども診療所 (2014年8月)

～お父さまお母さまへ～ 風しん予防には **MR (麻しん風しん混合) ワクチン**をおすすめしています

その理由は、風しんワクチンを受けていない人や1回だけの人では、麻しんワクチンの接種回数も不十分で、麻しんに対する免疫も弱いことが多いからです。過去にかかったことのある人が接種しても、あるいは3回以上接種しても、とくに問題はありません。成人のMRワクチン接種については2015年3月まで、京都市のワクチン助成制度が適用されています。